



# HEY! 輪っしゅいこー入

【発行】60周年記念2008年日本のうたごえ祭典in東京実行委員会・広報宣伝  
【事務所】〒169-0072 新宿区大久保2-16-36 東京のうたごえ協議会内電話 03-3200-4977  
ホームページ http://utago60.main.jp/メール utago60@ky.main.jp

## 「池辺晋一郎総監督と1000人実行委員のつどい」250名参加！

### 池辺先生の 新曲練習で 勇氣と熱氣

運営委員長・轟志保子

3月29日(土)、港区で「祭典総監督 池辺晋一郎さんと1000人実行委員のつどい」が行われました。池辺先生は忙しい中、この日に間に合わせるように、祭典で演奏する新曲「私たちが進みつづける理由」を書き上げて下さいました。短期間のうちに事前練習を行ったサークル・合唱団は、「毅然としてかっこいい!」「最後のリフレインは涙が出る」と口々に熱い感想を寄せてくれましたが、曲への思いと歌う意欲が「つどい」2500人の参加につながりました。

当日は11時から「開会 前事前練習」を設定し、40人以上が結集。女声は杉森俊幸企画委員長、男声は今村肇さんの指導でパート練習、昼食時間も忘れるほど?全員が熱中しました。

午後はいよいよ池辺先生の登場です。はじめに5月4日「9条世界会議」でオーケストラ伴奏で歌う「ねがい」を指導していただきました。池辺先生のスケールの大きな音楽に、何百回も歌ってきたこの曲の新たな面が引き出され「目からウロコ」です。5月4日の演奏がますます楽しみになりました。

続いて池辺先生とつどいごえ新聞三輪編集長のトークをささみ、「私たちが進みつづける理由」を指導していただきました。「ねがい」練習のみのつもりで来られていた方も引き続き残って下さいました。午前中の特別

開演時間を討議し、決裁しました。(別項参照下さい)



池辺先生と参加者の記念撮影

つどいごえ新聞社提供

中央合唱団 今村肇

つどいの2日前に池辺先生の「私たちが進みつづける理由」の楽譜を手にした。まず詩に目を通した。すごい詩だ。果たしてこの詩がどんな曲になるのだろうか?率直な第一印象でした。次に楽譜をさらってみて身体が熱くなった。軽快なリズムにのって、詩を十分にかいた歌詞がうたいたい易く、くいくいくきつづけられてゆく旋律。すばらしい音楽の誕生だ!

### パート指導をされたお二人(今村 杉森)と

29日は直接、池辺先生のご指導で初の練習。作曲の想いを織り交ぜながらの楽しく、熱っぽい指導。本当に有意義であり得をした気分になりました。この感想を書くことになり、書店に行き堤未果さんの著書を2冊買い求め、ざっと目を通し、この詩の内容の深さ、全世界に呼びかけているメッセージを知り、感銘を新たにしました。今、私が一番うたいたい歌、みんながうたいたい歌、多くの人に聞いてもらいたい歌になりました。

### 千葉の仲間の感想



2週間前に完成したばかりの新曲を、大部分の人が初見で、それも作曲家自身の初練習! 何とも無謀かつ大胆な取り組みといわれても仕方がない。しかし、この祭典で重要な役割を果たすであろうこの作品との出逢い、お見合い、といつことを考えれば、これ以上ない練習会だった。わが東京祭典の総監督、作曲家池辺晋一郎氏は、やはり詩を読む達人。その解釈からどんな音楽が生まれたか。それを解説、といつより謎解きをしてもらいながらの「譜読み」、何とも賢いな一時であった。ハイキングに出かける前に、目的地のすばらしい景色をチラッと見せてもらったような感じがな。この先の楽しみも倍増するといつもの。まだ、歩き始めたばかりです。焦らず、ゆっくり、みんなで歩いてゆきましょう。

東京祭典、これはイケル!  
千葉・関東担当 埴 治子

幕前で開催される九条世界会議にむけて、3月29日池辺先生と歌おう!と呼びかけ、千葉から「ねがい」練習のために10数人のメンバーが参加した。短時間ではあったが、有名なシャレを楽しみながらも実に納得する内容でした。東京祭典成功の集いてもあったわけ、早めの11時からできたはやばやの池辺作品の音取り練習から参加したが、当日は会場びっしり! 東京の盛り上がりを見て、「これはイケル!」と実感した。5月4日の「ねがい」参加呼びかけを強めながら、1000人実行委員を取り巻く関東としての取り組みが見えてきた3・29の私であった。

## 東京、1000人実行委員を達成!

東京の1000人実行委員登録運動は4月4日達成しました。東京の皆さんご苦労様。

山田組織事務局長が、合唱団白樺とアコーディオン教室の仲間、夜は合唱団北星の「五月の歌」練習会に参加した紫金草合唱団の皆さんに、「この日だけで計8人を増やしました。西部ブロックの外山さんは、世田谷の「コールあさやけ」の練習会にオルグして、実行委員登録を訴え、9人の方になってもらいました。また、東部の中島さんからは、「実行委員増やしたよ!これで1000人は達成した?」など連日の皆さんの頑張りで一気に、1000人を超過達成しました。

## さあ次は賛同金募金をやり遂げて祭典成功へ!





## チケット料金及び開演時間が決まりました!

大音楽会 (有明コロシアム)

開演時間 11月24日(月・休) 13:00~

一般: 3500円

小・中・高校生・障がい者: 2000円

お江戸のにぎわいコンサート(パルテノン多摩)

開演時間 11月22日(金) 17:00~

指定席: 3000円

一般: 2500円

小・中・高校生・障がい者: 1500円

記念音楽会 (日比谷公会堂)

開演時間 11月23日(日) 17:30~

A席指定: 6000円

B席指定: 5000円

自由席: 3000円



グッズ4弾は!

浦和レッズの向こうを張って、ド迫力(オレッ!)な  
タオルマフラー”乞うご期待!



4月6日(日)第7回を  
迎えた「ともしび」春の大うたごえ喫茶にお  
伺いしました。今回は「うたごえ60周年」と銘打った企画、またこの間、新編実行委員会に「ともしび」の方も参加して下さったり、うたごえレプンションで清水正美さんが演奏して下さいたりという交流もあり、ご挨拶と祭典のアピールを兼ねておじゃました。



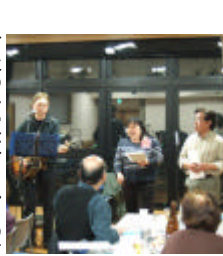
## 春の大うたごえ喫茶で祭典アピール!

入替え時間には、祭典のチラシ配布をしました。が、とても受け取りが良かった。うたごえ祭典、もう行くことに決めてるよ!「お友達も誘うから、チラシもつちようだい」などの嬉しい反応が多かったです。「チケット下さい」という方もいて、「スマセン」、5月発売なんです」と答える「ナリンド、まだ出てこないの」と残念そうでした。祭典への大きな期待と「広げていける」手ごたえを感じました。

### 祭典までの盛り上げ役・プレ企画委員会が活動スタート

このように祭典実行委員会独自のプレ企画を二十代から六十代の世代を超えた幅広いメンバーが知恵を出し合って考えています。皆さんのお知恵とパワーをプレ企画委員会にご協力ください。

今後の予定は、八月の原水禁大会で、広島市の電を借り切ったうたごえチンチン電車、隅田川でのうたごえ屋形船、さらには祭典当日は、都内各地からの参加者を乗せたうたごえバス、大音楽会にあとのうたごえ喫茶など祭典までの七か月間の盛り上げ役となってゆきます。



三月十七日プレ企画委員会キックオフ。プレ企画委員会の最初の企画は、東京総会後の懇親会を設定。これは単なる懇親会ではなく、きたがわってつさん、橋本のぶよさんを囲んで「護九里」を飲みながら、歌いかわそう、祭典成功へ向け語り合おうというものでした。

### グッズ第3弾!

「ねがい」5番が葉になります



20編くらいのデザインを作りました

20編くらいのデザインを作りました

「みんなでこころを頑張っています(北部のうたごえ協議会) 1000人実行委員は、サークル員全員で割に早く達成することができました。しかし、賛同金となると思うようには行きませんが、大きな目標と向き合っていると、ため息ばかりでなかなか一歩足がでません。北部では、できるだけ目標を小さく分けて取り組みました。目の前の目標のある程度みえる数字にする以外に、少し大きめの目標のところが動き出し、目標に近づいています。話し合いを進める中で、次々に何人も特別賛同金に協力したサークル。また動ける団員が限られたサークルでは、力のある一人が日頃応援してくれる地域の人に実行委員と1000円の賛同金を訴え全体の力になりました。担当者がいても、サークル員への訴えもうまく踏み出せないのであるところへは、北部の間でオルグをして一緒に話をして成果を上げました。残りの分は、もう一度みんなで新たな目標を決めて取り組み、4月中に達成したいと思っています。」

## 東京・北部実行委員会 賛同金70%を達成!

60周年記念  
2008年日本のうたごえ祭典in東京  
記念日本酒ポトル

東京の地酒  
清酒 澤乃井「護九里」

「ねがい」5番が葉になります

祭典グッズ第2弾登場!

表現の自由 (21袋入)

楽囃地蔵「金太郎」のど飴です。ニッキ味がさっぱりしています。

単価 (720ml) 1500円売り  
注文載きました取り扱い団体には  
200円の還元をいたします。

一袋 300円 (21粒 税込)

うたごえ60周年、記念祭典への”よびかけ”へ 多くの著名な方々からご賛同いただいております

- よびかけ人 明石武美(文化団体連絡会議事務局長)・浅井敬壹(全日本合唱連盟理事長)・井上美代(女性「九条の会」世話人/新日本婦人の会代表委員)・岩崎京子(児童文学者)・岩本達明(合唱指揮者)・永六輔(ラジオタレント)・上野さと子(全国保育団体連絡会会長)・大澤豊(映画監督)・大原穠子(方言指導)・木村康子(日本母親大会代表委員)/日下部吉彦(関西合唱連盟会長)・小森香子(詩人)・栗山文昭(合唱指揮者)・国分稔(全国商工団体連合会会長)・早乙女勝元(作家)・佐藤光雄(日本平和委員会代表理事)・ジェームス三木(脚本家)清水正美(うたごえ喫茶ともしびソプラノ歌手)・武田敦(首都圏青年ユニオン委員長)・高田公子(新日本婦人の会会長)・滝本英市(日本AALA連帯委員会事務局長)・高草木博(日本原水協事務局長)・竹下景子(俳優)・田中千恵子(日本医療労働組合連合会執行委員長)・田中悠(日本民主青年同盟委員長)・依儀文(子どもと教科書ネット21事務局長)・千坂純(日本平和委員会事務局長)・成瀬 政博(画家・エッセイスト)・西村直(きょうざれん理事長)・二本松はじめ(つながらりあそびうた研究所)・野田淳子(歌手)・坂内三夫(全労連議長)・松永勇次(作曲家)・丸木正臣(和光学園顧問)・三上満(教育評論家)・米浦正(全日本教職員組合中央執行委員長)・矢野ゆたか(狛江市長)・湯川れい子(音楽評論家)・吉田万三(歯科医/元足立区長) 50音順